



氷川町議会だより

清流ひかわ

No.37

令和2年
9月定例会

爽快「氷川ソーラン」

P2 新型コロナウイルス感染症対策支援強化

P4 委員会レポート・議案の審査結果

P6 町民一人あたり61万円支出

令和元年度決算認定

P7 そこが聞きたい

4議員が町政を質す

P11 これからの防災のあり方

令和2年度熊本県町村議会議員研修会

P12 スポット 三神宮

三神宮子ども神楽・巫女神楽

氷川中学校体育祭

新型コロナウイルス感染症 小学校児童全員に

タブレットを配置

令和2年度 氷川町一般会計補正予算

令和2年9月
定例議会



タブレットを使った授業（竜北中学校）

- 消防費**
 - ・消防操法大会中止に伴い関係予算を減額(257万円)
 - ・災害対策費消耗品(新型コロナウイルス感染症対策避難所で使う段ボールベッド等) 555万円
- 教育費**
 - ・備品購入費(町内3小学校にタブレット購入等) 7182万円
 - ・備品購入費(新型コロナウイルス感染症対策) 196万円
 - ・公民館修繕料 166万円
 - ・竜北歴史資料館修繕料 103万円

- 令和2年度氷川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**
 - ・一般被保険者医療給付費等の財源を一般財源から国県支出金へ財源組替 1469万円
 - ・一般被保険者保険税還付金 463万円
- 令和2年度氷川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)**
 - ・氷川町公共下水道改築更新工事設計委託料(宮原地区) 1000万円
 - ・工事請負費(氷川町公共下水道管路改築更新・修繕工事) 361万円減額
 - 令和2年度氷川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)**
 - ・会計年度任用職員の報酬、手当てなど関係費用 118万円

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う 地方財政の急激な悪化に対し地方税財源 の確保を求める意見書 全会一致で可決

新型コロナウイルス感染症の拡大で、国民生活への不安が続いている中、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策などへの対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られている。よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実することなど5項目を要望する。

地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を採択し、米村洋議長名で関係機関に送付しました。

物品売買契約の締結

- ・消防用小型動力ポンプ積載車 7台
 - ・契約金額 3,245万8,140円
 - ・契約の相手方 三輝物産株式会社
(代表取締役 西銘生治)
 - ・契約の方法 指名競争入札
- 議会は、契約の経過説明を受け審議し
全員賛成で可決しました。



決算審査(合同委員会)

対策—農業・商工業支援を強化 タブレットを配置

【第7号】 4億1030万円 可決

9月定例議会は、9月11日～18日までの9日間の日程で開催されました。提出された議案は、条例の一部改正が2件、令和2年度氷川町一般会計補正予算1件、特別会計補正予算4件、物品の売買契約1件、和解1件、令和元年度氷川町一般会計歳入歳出決算認定1件、特別会計決算認定4件、同意1件、意見書1件、継続審査になつていた請願1件を審議し、請願を除くすべての議案等を原案のとおり可決・認定・同意しました。

条例の一部改正

- 氷川町税条例の一部改正**

地方税法等の一部改正に伴い、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における税制上の対策として徴収猶予が講じられたため、条例の一部を改正しました。

- 氷川町手数料条例の一部改正**

行政手続き等に関係する法律の一部改正により、個人番号の通知カードが廃止されたため、再交付を行わなくなったので再交付手数料に關する規定を削除しました。

補正予算

- 令和2年度氷川町一般会計補正予算(第7号)**

歳入歳出予算の総額にそ

主な歳出予算は

それぞれ4億1030万円を追加し、予算の総額を84億5114万円とするものです。

総務費

- ・新型コロナウイルス感染症対策で、水道蛇口をレバー式に交換等 163万円
- ・公用車(軽自動車)購入 139万円
- ・町のホームページ作成管理システム改修業務委託(スマートフォンに対応) 498万円
- ・カープミラー等設置費 125万円
- ・財政調整基金積立金 1億5000万円
- ・戸籍附票システム改修委託料 495万円

農林水産業費

- ・氷川町内の農産物PR・販売促進委託料(テレビCM・販売促進) 677万円
- ・産地生産基盤パワーアップ事業補助金(高収益対策) 1568万円
- ・農業収入安定化事業費補助金(農家収入保険料補助金) 662万円

商工費

- ・新型コロナウイルス感染症対策商工業事業所予防対策応援金(感染症対策の店舗リフォーム等) 2500万円
- ・新型コロナウイルス感染症

土木費

- ・道路台帳作成更新業務委託料 299万円
- ・道路修繕料 250万円
- ・町道新設改良費(工事費2路線) 3979万円
- ・河川総務費修繕料(7月豪雨で被災した水路の修繕) 260万円

民生費

- ・敬老会中止に伴い関係予算を減額(約410万円)
- ・需用費(敬老会記念品等に代わるコロナウイルス感染防止対策用品と冊子を75歳以上の町民に届ける) 166万円
- ・宮原福祉センター修繕料(新型コロナウイルス感染症対策) 198万円
- ・竜北福祉センター修繕料(新型コロナウイルス感染症対策) 407万円
- ・竜北福祉センター外壁修繕工事 162万円



水害で壊れた用水路(中大野地区)

当委員会に付託されました案件は、条例1件、予算1件、契約1件であります。当委員会は、9月14日、役場2階大会議室で、関係課長より説明を求めながら審査を行いました。

主な審査の経過並びに質疑、意見は次のとおりです。

議案第31号 氷川町税条例の一部を改正する条例

50億円です。

西尾委員 合併特例債は2町の均一性を図るために使用されることも目的としており、道路建設においても同様である。合併特例債の活用について見直してほしい。

上田俊委員 総務管理費、交通安全対策費のカーブミラーの破損等への対応は。

総務課長 破損については、区長からの地区要望もあり、即時に対応しています。

上田俊委員 区長の交代もあり、なかなか引き継がれない部分もあるので、町でも巡回をお願いしたい。



三浦委員 振興局費のペルー支援衣類送付作業委託料で54万円計上されているが、これですべて完了するのか。

地域振興課長 現在保管している振興局2階へ取りに来て

企画財政課長 現在のホームページについては、スマートフォンでの閲覧に対応してありませんでしたのでスマートフォン対応の表示もできるように改修するものです。

西尾委員 消防費の災害対策費の消耗品費、飲料水の保存期間と、段ボールの用途について。

総務課長 飲料水は、5年程保存ができ、期間が過ぎれば廃棄し、補充していきます。段ボールについては、組み立て式の段ボールベッドで、現在50台ありますが、追加で100台購入するものです。

西尾委員 合併特例債は今ままでいくら使用されているか。

企画財政課長 今までの分は

三浦委員 現在保管している衣類は大丈夫か。今年中には輸送できるのか。

地域振興課長 集めた際に袋から出し、種類を分けて換気等を行いながら管理しています。契約から100日程度かかる見込みなので、1月中旬には届けたいと考えております。

西尾委員 教育費の小学校費、備品購入費のタブレットについて、家庭に持ち帰り可能なか。ランニングコストはどれくらいかかるのか。

学校教育課長 将来的に持ち帰り可と考えています。今まで、5年生以上にリースで導入していた物件の更新と、4年生以下の不足分を併せて購入するものです。保守点検費用が発生します。



西尾委員 学校事務センター

委員会レポート

産業建設厚生常任委員会審査報告

清田一敏 委員長

当委員会に付託されました案件は、条例1件、補正予算5件、その他1件であります。当委員会は、9月14日、役場2階大会議室で、関係課長に説明を求め、審査を行いました。

主な審査の経過並びに質疑、意見は次のとおりです。

議案第32号 氷川町手数料条例の一部を改正する条例について

質疑及び意見はありませんでした。

議案第33号 令和2年度氷川町一般会計補正予算(第7号)

吉川委員 民生費、福祉センター費の修繕料の内容は何か。

福祉課長 竜北福祉センター

の1階の福祉施設と2階の体育施設の管理の仕方を分けるために、2階の体育センターの空調管理を2階で操作できるように移設する費用と、独立した際の機械警備の修繕料です。

吉川委員 空調機器の警備関係は修繕料でいいのか。

福祉課長 既設操作盤の移転

議案第34号 令和2年度氷川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

質疑及び意見はありませんでした。

議案第35号 令和2年度氷川町介護保険特別会計補正予算(第1号)

吉川委員 諸支出金、償還金の内容と当初予算に計上していない理由は。

福祉課長 前年度の実績額により国、県、支払基金、町への返還金が確定したため計上しました。金額が確定した時に予算計上をします。

議案第36号 令和2年度氷川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

長尾委員 下水道の普及率と今後の見通しは。

建設下水道課長 水洗化率は宮原地区が97%で概ね完了、竜北地区は、70%弱。また、事業計画区域の未接続世帯へ、

合併浄化槽設置との費用面の比較により下水道接続した方が有利になる点や、点検や清掃していない処理水の環境への影響などを説明し、下水道接続への理解を図りたい。

議案第37号 令和2年度氷川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

質疑及び意見はありませんでした。

○議案第39号 和解について

木下委員 訴訟費用については各自負担となっているが、なぜ町が負担するのか

福祉課長 費用も含めて和解案として提案されている。今回、氷川町だけでなく関係自治体と連携して提案しています。

以上の付託議案は採決の結果、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。



採決の結果、賛成者はなく不採択とすべきものと決しました。

○請願1号 家庭教育支援法の制定を求める意見書提出に関する請願

上田健委員 県が条例を制定しているのだから国に提出する必要はないのではないかと疑問は今ある法律で十分解決できる。家庭教育支援法は教育基本法との整合性に問題がある。



西尾 正剛 議員

Q：氷川水系の整備でハード面・ソフト面の対策はどうなっているのか。

A：河川内樹木伐採は昨年度から実施している。ハザードマップを更新する。



河川内に草木が生い茂っている「氷川」

議員 7月4日の熊本豪雨を踏まえ、氷川水系の整備についてお尋ねしたい。今後、線状降水帯の停滞による豪雨を憂慮する多くの住民の声がある。洪水に対する災害防止の備えは、ハード面・ソフト面でどういった対策をとっているのか。建設下水道課長 町では、災害に強いまちづくりを標榜としている。防災機能強化計画の中で、ライフラインとし

一般質問

きょうが聞きたい

令和元年度氷川町一般会計歳入歳出決算

令和元年度 決算認定

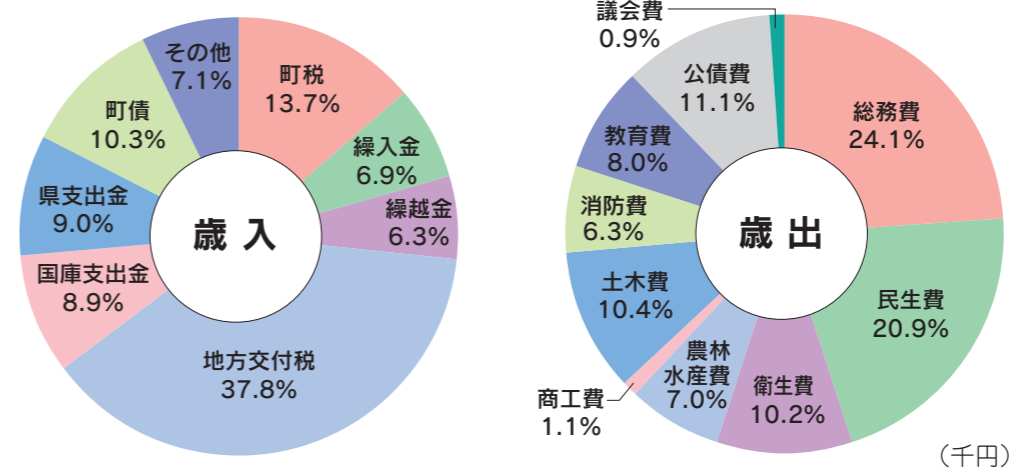


Table with 4 columns: 会計名, 歳入金額, 歳出金額, 差引残額. Rows include general account, national health insurance, etc.

暮らしと福祉の充実に 町民一人当たり 61万円を支出 歳出総額70億9988万円

一般会計

令和元年度氷川町一般会計歳入歳出決算審査の主な意見

町税の徴収

西尾議員 不納欠損で即時消滅とあるがどういった事例か。税務課長 即時消滅は徴収できないことが明らかで、所在、住所が不明なもので、吉川議員 不納欠損が4年間で4200万円ある。住所不明者が増加傾向なので対策が必要では。税務課長 調査を進めるとともに、届け出の徹底をお願いしていきたい。

地方バス対策補助金

吉川議員 氷川町もバスが役場前を通るようにと意見がある。補助金出しているがメリットが少ない。総務課長 バスは住民の唯一の公共交通手段である。乗り合いタクシー等の検討も必要と考える。今後の課題です。

行政区活動活性化交付金

西尾議員 行政区活動活性化交付金は仕組みが変わった。不用額が多いのは何故か。地域振興課長 新たにリサイクルや検診受診率も交付金対象にしたが3月精算で費用が見込めなかった。

西尾議員 不用額の主なものは、リサイクルの見込みが少なかったのか。地域振興課長 総合的な積み重ねです。

福祉タクシー券の利用は

吉川議員 必要な人にいきわたっていないのでは。福祉課長 防災無線や広報紙、民生委員等呼び掛けている。さらなる周知が必要です。

福祉センターの不用額

吉川議員 福祉センター費の不用額が多い、竜北福祉センターの灯油代は残額が多い、補正額以上に不用額が出ている。福祉課長 宮原福祉センターは機械の故障で風呂が使用できなくなったため。竜北福祉センターは体育センターの冷暖房使用が少なかったためです。

生ごみ減量化対策

西尾議員 生ごみ処理機購入助成金は70%が未実行になっている。積極的なPRが足りなかったのではないかと。町民課長 広報紙やHP等で周知したが、事業用を含め半分以上が執行残となった。力を入れていきたい。

物産館の今後は

吉川議員 物産館は販売額や客数が減少、出荷組合員数も減少傾向にある。売り場面積は狭いと思う。農業振興課長 出荷協議会でも危機感を持って話し合いをしている。売り場環境の改善も含めリニューアルの声もある。

予算の見通しがあまい

西尾議員 土木総務費の負担金補助金で不用額が出ている。危険ブロック対策補助金は未執行。見通しが甘いのでは。建設下水道課長 危険ブロック対策補助金については申請が無かった。

企画財政課長 不用額については昨年度も指摘を受けたので改善を指示していたが、同様の結果になった。



町道立神大野線

手されない。何故、道路拡幅の取組みが行えないのか。

新田野津橋線は主要な幹線道路。しかるべき時期に整備

建設下水道課長 町道新田野津橋線は町の主要な幹線道路であり、地域住民の重要な生活道路であると理解している。総延長2252メートルで、県道鹿野赤迫線に接続する74メートル区間の道路改良は平成27年度に実施している。今後、財源確保の観点から計画づくりを進めていく。

町道新田野津橋線の拡幅改修工事の着手はいつなっているのか

議員 町道新田野津橋線の拡幅工事は、平成30年12月議会一般質問で、できることから進めていくとの答弁があったが、なかなか工事が着



吉川 義雄
議員

Q：上水道断水の周知はなぜ遅れたのか A：職員の放送機器への不慣れ、研修を行う

総務課長 上水道断水の対応につきましては、7時10分に八代生活環境事務組合からFAX及び電話で、防災無線による町内への断水周知依頼があったりました。8時からの断水を7時30分に放送することになっていましたが、放送原稿の内容修正や新しく導入した防災行政無線の放送機器への職員の不慣れによりまして、屋外のみ放送が8時1分

放送機器に不慣れで周知が遅れた

議員 7月12日、町内の上水道が断水しました。氷川町防災無線で「断水」の知らせが放送されましたが、放送時すでに断水していた地域もありました。町民から「苦情」や「問い合わせ」が多数あったと聞いています。上水道は八代生活環境事務組合が運営をしております。生活環境事務組合が責任を持って対処することは当然ですが、生活環境事務組合からの断水連絡に対して、町はどう対応されましたか。

総務課長 災害時、断水時の上水道飲料水の確保については、町の防災計画では、町の拠点場所、避難場所などに給水車での給水を予定しています。

4500人の3日分備蓄をする

議員 災害が多発する中、ライフラインを確保することは自治体の一番大事な仕事です。災害時の上水道飲料水の確保についてどう考えていますか。

飲料水の確保状況は

総務課長 防災無線等につきましては、職員研修で操作マニュアル等の周知徹底を図り、今後も研修を続けたいと思っています。

総務課長 災害時避難場所には、飲料水や食糧等を配送し配布致します。また、町内39地区には災害時に住民が迅速かつ的確に活動ができるよう自主防災組織を設けています。その運営体制で食料、給水班等を設けてありますので、自助共助の面から高齢者など移動が困難な世帯には食料及

高齢者等へは自主防災組織体制で対応したい

議員 今回の断水で、生活環境事務組合は給水場所を2か所設置し、対応しましたが、町民のみなさんはコンビニやショッピングセンターなどへ出かけ、飲料水の確保に狂奔されました。災害弱者と言われる人への対策はどうされたか。

災害弱者への対策を

議員 今回の断水で、生活環境事務組合は給水場所を2か所設置し、対応しましたが、町民のみなさんはコンビニやショッピングセンターなどへ出かけ、飲料水の確保に狂奔されました。災害弱者と言われる人への対策はどうされたか。



氷川町防災倉庫に備蓄されている「飲料水」

町長 断水の告知が遅れたことにつきまして、町民の皆さま方に心よりお詫びを申し上げます。今後、二度とこのようなことが起きないように生活環境との連携、それから私も、町の体制を見直していきたいと思っています。

◎他に「学校給食費の無料化」「学校のICT化の今後計画と家庭の環境整備」について町の考えを質問しました。

二度とないよう生活環境との連携・町の体制を見直す

議員 一人暮らしや高齢者の方々にしっかりと対応していただきたい。



片山 裕治
議員

Q：商工業者の経営安定を図るための支援を A：効果あるプレミアム付き商品券を検討する



議員 商工業者が事業継続できなくならないように商工会の共済保険に加入されており、事業者の商工業経営安定化を図るために、商業収支安定化資金の創設できないか。
町長 商工業も氷川町の大切な基幹産業であります。しっかりとこれからも守っていかなければならぬという気持ちがございます。現在の共済の加入状況、その他も担当課で商工会の現状というものをまず確認をさせていただいた上で、必要ということで認めれば来年度以降の実施に向け検討していきます。

商業収支安定化資金の創設を

議員 学校の長期休校を余儀なくされたわけでありますが、子どもたちの生活面の影響と学校の再開にあたっての子ども達の安全と心のケアは、どのように取り組まれたのか。

学校の現状と今後の対策 行事計画について

議員 学校の長期休校を余儀なくされたわけでありますが、子どもたちの生活面の影響と学校の再開にあたっての子ども達の安全と心のケアは、どのように取り組まれたのか。

学校教育課長 始業式、入学式のあと4月15日から新型コロナウイルスウィルス感染拡大防止のため、長い臨時休業となりました。5月22日から、ならし登校として午前中授業を実施いたしました。6月1日から本格的に学校が再開し、学校再開にあたっては、3密を避け、クラスを2つに分けて、ソーシャルディスタンスを保つ、大きな特別教室に移動して授業を行うなどの教育活動、夏休みも8月8日から8月19日までの12日間に短縮して、授業を実施しております。また、学校整備や共用物の消毒作業を学校職員やCS、PTAで協力し、9月からはスクール・サポート・スタッフを全校に配置し、新型コロナウイルスを全校に配置し、新型コロナウイルスを全校に配置し、新型コロナウイルスを全校に配置し、

行事は安心安全を第一に

議員 今後の各種学校行事に対する考えは。

これからは感染症が懸念される

議員 これから寒くなりますとインフルエンザと新型コロナウイルスウィルス感染症などの複合的に発熱を伴う感染症が広がる懸念があります。

文科省のマニュアルに沿った対応を図る

議員 一人暮らしや高齢者の方々にしっかりと対応していただきたい。

可能な限り感染リスクを下げる努力をする

教育長 このウィズコロナの時代において、可能な限り感染リスクを下げる努力を精一杯整えて、その上で教育活動が継続できるように各学校をしっかりと支えて参ります。



「勝利の道をつっ走れ」- 電北中学校体育大会

令和2年度
熊本市議会議員
研修会

これからの防災のあり方

講師 防災システム研究所長
防災・危機管理アドバイザー

山村武彦氏

令和2年度熊本市議会議員研修会が10月2日(金)熊本市立劇場コンサートホールで開催されました。今回の研修は、「これからの防災のあり方」と題して講演が行われました。講師は、防災システム研究所所長で、防災危機・管理アドバイザーの山村武彦氏が最近の大規模災害に学ぶ、個人と自治体の防災・危機管理を中心に話がありました。



木下 厚
議員

Q：豪雨の時、氷川の堤防は大丈夫か
A：2級河川で県管理の河川・県と連携を図って取り組む



2級河川「氷川」(氷川町野津地区)

議員 7月3日から7月4日にかけて、人吉球磨、八代、芦北と県南地域に甚大な被害をもたらした豪雨について、私の危惧していることについて述べたいと思います。
8月27日現在の県の被害状況の集計をみますと、死亡した人は、人吉20人、球磨村25人、芦北町11人、津奈木町3人、八代市4人と県南地域で63人。行方不明者2人。住宅被害は、全壊1081棟、半壊1994棟、床上浸水3701棟、床下浸水1889棟、一部損壊848棟と住宅

関係だけでも甚大な被害があった。さらに、道路、橋、農地、山林の土砂崩れ、水道、下水道、電気などインフラ関係にも多大な被害があった。氷川町は、地理的・地形上被害にあわれた人吉球磨、芦北、八代と陸続きにある。今回のような豪雨が氷川町に降ったら、氷川の堤防は耐えられるのかお聞きします。
県が河川改修事業に着手している
建設下水道課長 先ほど西尾議員からの質問にも答えましたが、氷川の治水対策は昭和38年8月と昭和40年7月の河川氾濫による洪水を契機に始まっています。
治水事業としては、昭和40年から「氷川ダム」の建設に着手、昭和48年に完成しております。しかしながら、その間、昭和47年7月の洪水で浜牟田橋が流出するなど大きな被害を受けました。これを契機に河口から九州縦貫自動車道までの河川改修事業に着手されています。
議員 住民の生命、財産を守る
堤防の強化を取り組んで

ることは、行政の一番目に取り組むことだと思います。今後は、堤防の強化を進めてもらいたい。
Q 耕作放棄地の解消への取り組みの現状は
A 農業委員会と最適化推進委員で遊休地の解消・発生防止に努める
議員 耕作放棄地の解消の取組は、最適化委員と農業委員の仕事は関連しますので、答弁は併せてお願いしたい。
2016年度改正農業委員会法施行で選出方法は公選制から市・町・村長による任命制に変更になり、農業委員と最適化推進委員による新体制に移行した。現行の農地法の許可業務に加えて、①農地の担い手への集積 ②遊休農地の解消及び発生防止 ③新規就農の促進が必須業務と位置づけされたが、成果は上がっているのか。
本町は農業立町ということで行政は運営されている。今までの取組と今後の課題は。
農地課長 毎年、農業委員、農地利用最適化推進委員による調査を行っており、令和元



耕作放棄地



防災隣組10カ条と互近助(ごきんじょ)

- ① ほどよい距離感で(べたべたせず、プライバシーに深入りせず)
- ② 困ったときはお互い様
- ③ あいさつは、先手必勝(気づいたほうが先に言う)
- ④ 気持ちよい前向きな挨拶(嫌な雨→良いお湿り)
- ⑤ 地域行事に積極参加
- ⑥ 欲張らないで、身近なことからコツコツと
- ⑦ 回覧板は、顔を見て手渡しで
- ⑧ いざというとき、ためらわないで声かけて
- ⑨ 向こう三軒両隣で安否確認チーム無理なく、楽しく、自分のために、住み続けたいまちづくり
- ⑩

(講演の参考資料から引用)

県内29町村の議会議員が参加しました。全員がマスク着用・会場入り口で手の消毒・検温がありました。会場内の座席は一つ置きでの着席と新型コロナウイルス感染症対策をとった中で行われました。
氷川町議会は米村洋議長をはじめ全議員が参加しました。講師の山村氏は、4年前の熊本地震の災害時も西原村など現地取材、また今年の人吉市を中心とした県南豪雨災

害も現地取材し、最近の大規模災害から命を守る対策や行動など、詳細に話がありました。講師から参加者へ質問が、「熊本地震を経験して



研修で講演を聞く町村議会議員

家屋内に「安全ゾーン」を作る必要性を強調されました。氷川町は防災対策を強化し、防災行政無線のデジタル化、野外放送機器の充実、防災公園の整備に取り組んでいます。今回の研修で学んだことを議会でもしっかり議論し「安全安心のまちづくり」に生かしていきたい。(長尾議員)



崩壊したJR球磨川第1橋梁

道の駅 さかもと

氷川町教育委員会委員の任命に同意

氏名 豊暉原 素峰 氏
住所 氷川町吉本

藤本一臣町長から、氷川町教育委員会委員に任命したいので議会の同意が求められました。豊暉原素峰氏は現在教育委員会委員長として在任されています。議会では異論もなく教育委員会委員の任命に同意しました。

スポット

三神宮

三神宮子ども神楽・巫女神楽

氷川町下宮地区に宮原三神宮が位置しています。三神宮そのものは文化財の指定を受けていませんが、祭り等に係る無形民俗が町指定の文化財となっているため、三神宮の概要を説明いたします。

宮原三神宮は、平治元（1159）年に建てられたと伝わっており、町内でも古い神



三神宮子ども神楽

社の一つです。近世までは「三宮社」「宮原妙見社」と呼ばれ、明治時代以降、宮原三神宮と呼ばれるようになりました。

また、それまでは神仏習合（神道と日本の仏教が合わさって一つの信仰となったもの）のため、6つのお寺が付随して建てられていました。境内には、そのうちの一つであった神蔵寺の塔の心礎（中心柱の礎石）や、三宮社時代の社額が残っています。

子ども神楽は、昭和7年、氏子による子ども神楽の養成が立ち上がり、氏子総代の賛同を得て始められました。神楽の起源は「天岩戸神話」と言われており、舞を舞って神さまを迎えたものと言われています。神楽にはその内容からいくつもの種類があり、子ども神楽は肥後神楽（神官を中心とし、十二座で構成され



三神宮巫女神楽

る簡潔な舞）です。

巫女神楽は近年になって奉納されるようになった神楽です。昭和63年、下宮地区において「宮原三神宮巫女神楽保存会」が結成され、それまで子供で行われていた「樽みこし」が、男子は「子供神楽」、女子は「巫女神楽」として行われるようになりました。演目は三舞ですが、優雅さをしのばせるものです。

●表紙のひょうじや

9月26日、氷川中学校の体育祭が開催されました。今年はコロナ禍の中、見守る保護者は少なかつたものの、100メートル走ではみんな元気よく全力で駆け抜けていました。

氷川中学校恒例の「氷川ソーラン」は赤組・青組に分かれて、お互いが創意工夫を凝らし力強く爽快に演舞。

見ている者に感動を与えてくれました。

コロナに負けない気迫、「記憶に残る体育祭」でした。



●編集後記

今年も早いもので残すところあと2ヶ月となって参りました。今年も、新型コロナウイルスが世界全体で猛威をふるっています。冬になるとインフルエンザも似た症状で判断しにくいと思われまます。皆様も早目の予防をされることをお勧めします。また今年も、台風・豪雨等の自然災害で人吉、芦北、八代坂本地区で甚大な被害をもたらした一年だったと思えます。自助・公助はもちろん、防災訓練を実施し「備え在れば憂いなし」の教訓を肝に銘じ災害に強いまちづくりを支援して参りたいと思えます。

今後とも、開かれた議会活動を目指すため、なお一層充実した紙面作りに努力いたします。

（長尾）

議会広報調査特別委員会

委員長

吉川義雄

委員

片山裕治

副委員長

河口涼一

委員

長尾憲二郎